

第6学年 各教科 評価規準

※国・社・算・理の評価規準はシラバスをご覧ください。

教科	評価の観点	評価規準
音楽	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。 表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
图画工作	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解している。 材料や用具を活用し、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を深めたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> つくりだす喜びを味わい主体的に表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
家庭	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 家族の一員として、生活をよりよくしようと、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
体育	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動の行い方について理解しているとともに、各種の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、心の健康やけがの防止、病気の予防について理解しているとともに、健康で安全な生活を営むための技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 自己やグループの運動の課題を見付け、その解決のための活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。また、身近な健康に関する課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 各種の運動の楽しさや喜びを味わうができるよう、各種の運動に積極的に取り組もうとしている。また、健康・安全の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復についての学習に進んで取り組もうとしている。
道徳	<p>＜内容項目＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主として自分自身に関すること ○主として人との関わりに関すること ○主として集団や社会との関わりに関すること ○主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 	<p>＜主な評価の観点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 一面的な見方から多面的な見方へと発展している。 道徳的な価値の理解を自分自身との関わりの中で深めている。 その他（学習状況に成長が見られる等） <p>※記述による評価となります。</p>

外 國 語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解している。 ・読むこと、書くことに慣れ親しんでいる。 ・外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。 ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、音声で十分慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
総 合 的 な 学 習 の 時 間	<p><学習内容></p> <p>○最高学年になって</p> <p>○軽井沢発見！</p> <p>○自分の生き方、 向上プロジェクト</p> <p>○今までの私、 そして未来へ</p> <p>○私たちの国、世界の国</p>	<p><問題を解決する資質や能力></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に興味関心をもち、提示された事象から課題を見出そうとしている。 ・探究活動の流れを理解し、解決につながる具体策を考えることができる。 <p><学び方・ものの考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のための計画・立案・スケジュール管理ができる。 ・調査や体験活動をする過程で、自分の考えを修正したり深めたりすることができる。 <p><主体的・創造的・協同的に取り組む態度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究したことを相手意識をもって表現することができる。 ・友達の考えに対して、耳を傾け、適切なアドバイスをすることができます。 <p><自己の生き方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境や自己の生き方について、自己の生活を見つめ直し自分なりの考えをもって生活に生かそうとすることができる。 <p>※記述による評価となります。</p>

※上記の評価規準を基に評価いたします。通知表には、左側の観点項目だけが記載されております。